患者さまのご家族または代理人の方へ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、お申し出ください。拒否の申し出があった場合には、患者さまに関するデータはすみやかに廃棄させていただきます。ただし、解析終了後はデータの削除には応じられません。

研究課題名 （研究番号）	表面筋電図を用いた呼吸補助筋活動分析の人工呼吸器離脱予測指標としての有用性の検討　-速浅呼吸指数と比較した横断研究-
当院の研究責任者 （所属）	仲間　敏春（友愛医療センター集中治療室）
研究代表機関および研究代表者	琉球大学医学部保健学科　関口浩至
本研究の目的	本研究は人工呼吸器からの離脱を試みている患者さんの頸部の呼吸補助筋（胸鎖乳突筋や僧帽筋）活動を、表面筋電図を用いて定量的に評価し、呼吸回数が速くなる努力性呼吸に対して呼吸補助筋の活動が急激に大きくなるポイントの関係を検証することで人工呼吸器からの離脱がより安全に行くことを予測することができないか検討します。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～　2026 年 12 月 31 日
研究の方法 （利用する試料・情報等）	●対象となる患者さま ＜選択基準＞ ①　琉球大学病院救急部HCU病棟または社会医療法人友愛会友愛医療センターICU に入室して侵襲的人工呼吸管理を受けている 18 歳以上の患者さま ②　救急医・集中治療の医師もしくは主治医が人工呼吸器からの離脱を判断した患者さま ＜除外基準＞ ①　予定の手術に伴う治療の一環として人工呼吸管理を受けている患者さま ②　本人または代理人から参加拒否の申し出があった場合は除外します ●利用する情報 ＜カルテ情報＞ 身長、体重、年齢・人工呼吸管理となった理由（疾患）・人工呼吸器離脱開始までの日数、血圧・脈拍・酸素飽和度・呼吸回数・体温)、一回換気量 (ml)、分時換気量（L)、呼吸回数、離脱中に血液ガス分析が実施されていればその結果、そして最終的な人工呼吸器からの離脱の可否など ＜研究のために取得した情報＞ 呼吸補助筋（胸鎖乳突筋・僧帽筋）の活動電位※ ※研究のために取得した情報に関して

	本研究では、通常、朝の医師の診察後にその実施の可否が判断される、「自発呼吸トライアル」の最初の 30 分から 1 時間を観察の対象としています。このトライアルは、治療の一貫として行われるものですが、研究のために、表面筋電図での観察を追加して実施させていただきました。 表面筋電図によるデータの取得は、電極を呼吸補助筋（胸鎖乳突筋・僧帽筋）の皮膚上にテープで貼付して行います。これは、通常の診療で利用されている心電図電極と同等のもので、患者さんへの影響はほぼなく、リスクもありません。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	研究代表機関（琉球大学）への情報の提供は、CD-R に、データにパスワードを設定保存し、直接、手渡しが郵送（書留）にて提供します。
試料・情報の二次利用	情報の二次利用は一切ありません。
個人情報の取り扱い	測定により得られた患者さまの情報を扱う際は、個人 ID とは関係のない番号を付して匿名化します。収集したデータは本研究のみに使用する専用のパソコンに記録し、パソコンにはパスワードを設定します。パソコンは友愛医療センターICU スタッフ室の鍵のかかる場所に保管します。個人情報管理責任者は友愛医療センター看護部主任の仲間敏春です。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究は令和 4（2022）年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（若手研究）の研究費にて行っています。本研究に関する利益相反はありません。
お問い合わせ先	電話：080-3995-3164 担当者：仲間　敏春